



2023年4月12日

各 位

会 社 名 寿スピリッツ株式会社
 (URL <https://www.kotobukispirits.co.jp/>)
 代 表 者 名 代表取締役社長 河越誠剛
 (コード：2222 東証プライム市場)
 問 合 せ 先 常務取締役グループ経営管理本部長
 松本 真司
 T E L 0859(22)7477

2023年3月期通期の売上状況(概算)について

2023年3月期通期(2022年4月1日～2023年3月31日)の売上状況(概算)についてお知らせいたします。

通期売上高(概算) 50,155百万円 前年同期比 55.8%増(20/3期同期比 11.0%増)

第4四半期会計期間売上高(概算) 14,785百万円 前年同期比 59.5%増(20/3期同四半期比 55.5%増)

●四半期別売上高

(単位：百万円)

	1 Q 4月～6月	2 Q 7月～9月	2 Q累計	3 Q 10月～12月	3 Q累計	4 Q 1月～3月	通期
前期	5,758	6,200	11,958	10,962	22,921	9,270	32,191
当期	9,515	10,584	20,099	15,270	35,370	14,785	50,155
増減額	3,757	4,384	8,141	4,307	12,448	5,515	17,964
前期比増減率	65.2%	70.7%	68.1%	39.3%	54.3%	59.5%	55.8%

(ご参考：20年3月期同期比増減)

(単位：百万円)

	1 Q 4月～6月	2 Q 7月～9月	2 Q累計	3 Q 10月～12月	3 Q累計	4 Q 1月～3月	通期
20年3月期	10,626	11,760	22,387	13,287	35,674	9,505	45,180
増減額	△1,111	△1,176	△2,287	1,982	△304	5,280	4,975
前期比増減率	△10.5%	△10.0%	△10.2%	14.9%	△0.9%	55.5%	11.0%

●セグメント別売上状況(概算)

(単位：百万円)

	4 Q(1月～3月)				通期(4月～3月)			
	当四半期	前四半期	増減	増減率	当期	前期	増減	増減率
シュクレイ	6,416	3,451	2,965	85.9%	20,698	11,957	8,740	73.1%
ケイシイシイ	4,420	3,483	936	26.9%	14,113	10,958	3,154	28.8%
寿製菓・但馬寿	2,372	1,340	1,032	77.7%	10,042	6,053	3,989	65.9%
販売子会社	1,457	783	673	85.9%	5,354	3,006	2,347	78.1%
九十九島グループ	1,301	808	493	61.0%	4,627	2,872	1,755	61.1%
その他	219	195	23	11.9%	733	566	167	29.5%
小計	16,188	10,063	6,124	60.9%	55,570	35,415	20,155	56.9%
(調整額)(注)	△1,402	△793	△608	76.7%	△5,414	△3,223	△2,191	68.0%
合計	14,785	9,270	5,515	59.5%	50,155	32,191	17,964	55.8%

(ご参考：20年3月期同期比増減)

(単位：百万円)

	4Q(1月～3月)				通期(4月～3月)			
	当四半期	20年3月期 四半期	増減	増減率	当期	20年3月期	増減	増減率
シュクレイ	6,416	3,446	2,970	86.2%	20,698	16,198	4,499	27.8%
ケイシイシイ	4,420	3,255	1,164	35.8%	14,113	12,700	1,413	11.1%
寿製菓・但馬寿	2,372	1,615	756	46.8%	10,042	10,572	△529	△5.0%
販売子会社	1,457	1,102	354	32.2%	5,354	6,175	△821	△13.3%
九十九島グループ	1,301	857	444	51.9%	4,627	4,522	105	2.3%
その他	219	173	45	26.4%	733	812	△78	△9.6%
小計	16,188	10,451	5,736	54.9%	55,570	50,980	4,589	9.0%
(調整額)(注)	△1,402	△945	△456	48.3%	△5,414	△5,799	385	△6.6%
合計	14,785	9,505	5,280	55.5%	50,155	45,180	4,975	11.0%

(注) 1. 調整額は、セグメント間の内部売上高であります。

2. 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を適用しております。過年度の数値については、当該会計基準等の適用前の金額であり、増減額及び増減率につきましては、当該数値により算出したしております。

[補足説明]

当第4四半期会計期間(1月～3月)

当第4四半期会計期間(1月～3月)の事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎ、行動制限及び入国制限が緩和され、また、全国旅行支援などの観光需要喚起策も加わり、人流は総じて回復基調で推移いたしました。そのような中、主力商品対策や新商品・限定商品の発売、季節イベント対策、催事出店の推進などの施策遂行により、当期間の売上高(概算)は、前年同期比59.5%増(20年3月期同四半期比55.5%増)の14,785百万円となる見込みであります。

月別の売上高(海外子会社除く)は、1月が前年同月比53.3%増(20年3月期同月比7.7%増)、2月が同74.6%増(同39.2%増)、3月が同55.2%増(同151.3%増)となりました。

セグメント別では、各セグメントとも前年同四半期に対し軒並み増収で推移し、中でも「シュクレイ」が、新規出店効果や催事出店の推進、インバウンド対策などの諸施策が奏功し、好調に推移いたしました。

通期(4月～3月)

当連結会計年度の売上高(概算)は、前年同期比55.8%増の50,155百万円となる見込みであります。

[業績予想について]

2023年3月期通期の業績予想につきましては、本資料の公表時点では、2023年2月2日公表の業績予想からの変更はありません

なお、当期の決算発表は、本年5月15日(月)を予定いたしております。

以上